

2015年3月期決算の概要と 2016年3月期見通しについて

2015年5月8日
東レ株式会社

目次

I. 2015年3月期決算の概要

2015年3月期連結決算概要	(P3)
売上高・営業利益の推移	(P4)
総資産・D/Eレシオ、ROA・ROE	(P5)
営業外収支	(P6)
特別損益	(P7)
資産・負債・純資産、フリー・キャッシュ・フロー	(P8)
セグメント別売上高・営業利益	(P9)
セグメント別業績	(P10-17)
営業利益増減要因分析	(P18)
主要子会社収益状況	(P19)
従業員数、関係会社の異動	(P20)

II. 2016年3月期連結業績見通し

2016年3月期連結業績見通し	(P22)
セグメント別業績見通し	(P23)
設備投資額・減価償却費・研究開発費の推移	(P24)

III. “プロジェクト AP-G 2016”の進捗状況

“プロジェクト AP-G 2016”の進捗状況	(P26-31)
連結営業利益の推移	(P32)

I . 2015年3月期決算の概要

2015年3月期連結決算概要

	14年3月期			15年3月期			通期増減
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
売上高	8,538	9,840	18,378	9,480	10,628	20,107	+1,730 (+9.4%)
売上原価	6,886	7,965	14,852	7,623	8,492	16,115	+1,263 (+8.5%)
売上総利益	1,651	1,875	3,526	1,857	2,136	3,993	+467 (+13.2%)
(売上高総利益率)	19.3%	19.1%	19.2%	19.6%	20.1%	19.9%	+0.7 ポイント
販売費及び一般管理費	1,208	1,265	2,474	1,343	1,414	2,758	+284 (+11.5%)
(売上高販管費比率)	14.2%	12.9%	13.5%	14.2%	13.3%	13.7%	+0.3 ポイント
営業利益	443	610	1,053	513	722	1,235	+182 (+17.3%)
(売上高営業利益率)	5.2%	6.2%	5.7%	5.4%	6.8%	6.1%	+0.4 ポイント
営業外収支	22	32	54	52	▲1	51	-3
経常利益	465	641	1,106	565	721	1,286	+179 (+16.2%)
特別損益	▲27	▲102	▲129	▲21	▲120	▲141	-12
税前利益	438	539	978	544	601	1,145	+167 (+17.1%)
当期純利益	294	302	596	413	298	710	+114 (+19.1%)

単位：億円

為替レート

<円/US\$>

(前期) → (当期)

期中平均 : 100.2 → 109.9

期末 : 102.9 → 120.2

<円/ユーロ>

(前期) → (当期)

期中平均 : 134.4 → 138.8

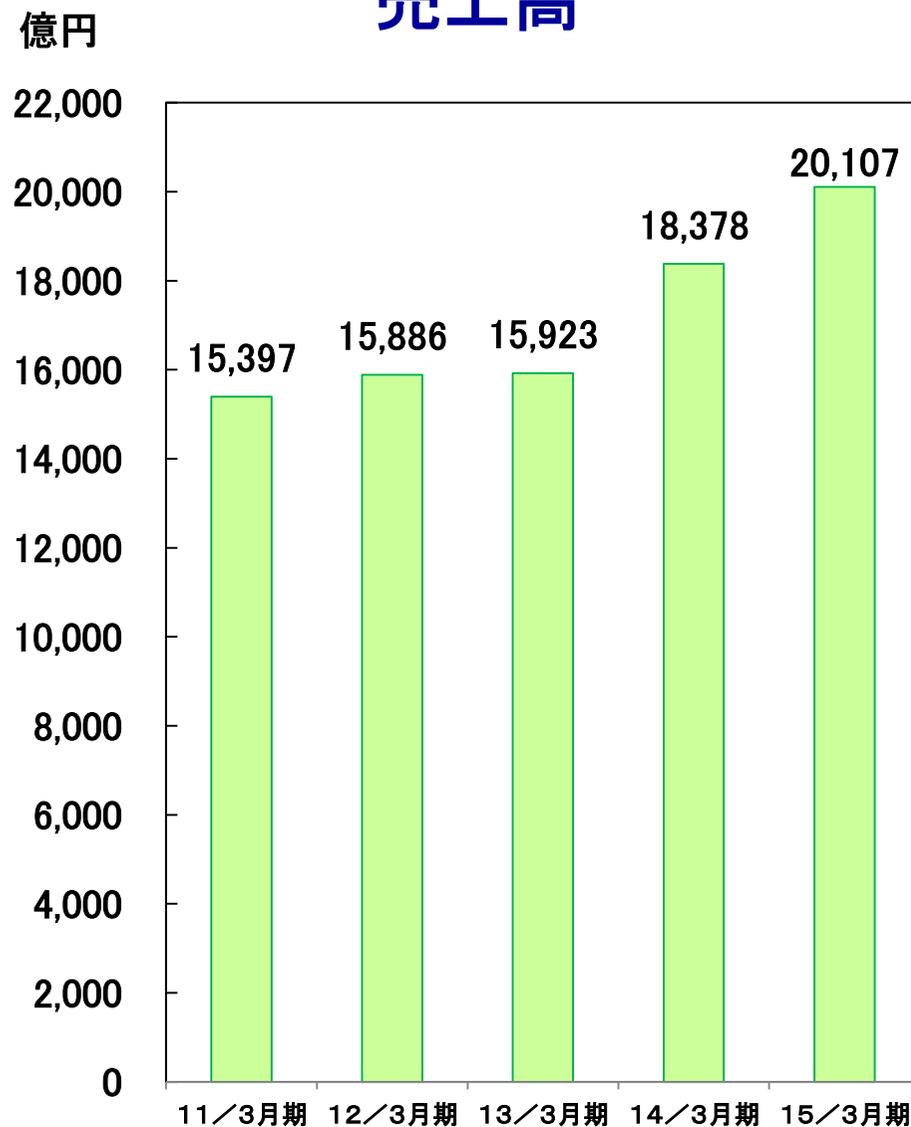
期末 : 141.7 → 130.3

1株当たり 当期純利益	18.03円	18.56円	36.59円	25.70円	18.61円	44.33円
1株当たり配当金	5.00円	5.00円	10.00円	5.00円	6.00円	11.00円

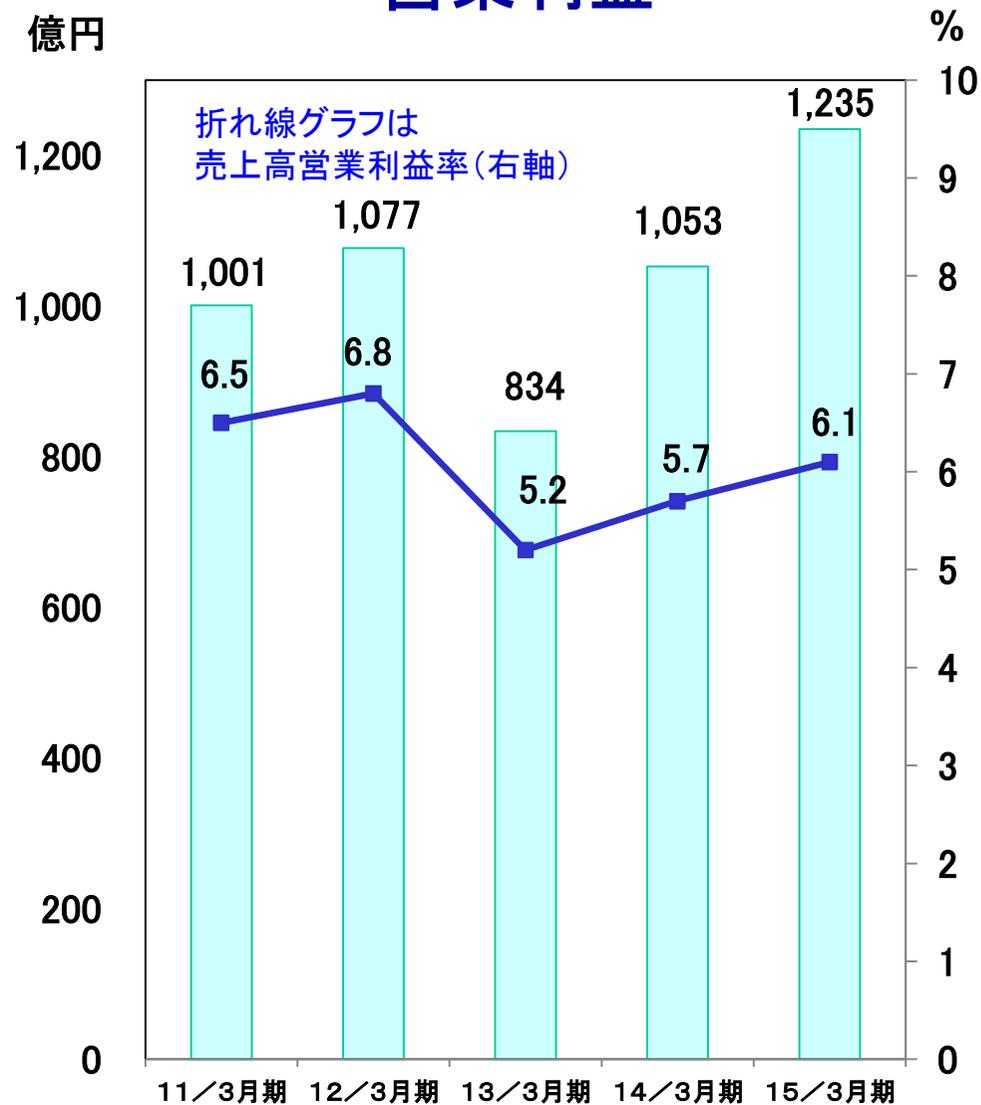
* 3月決算会社は4~3月の業績、12月決算会社は1~12月の業績を連結

売上高・営業利益の推移

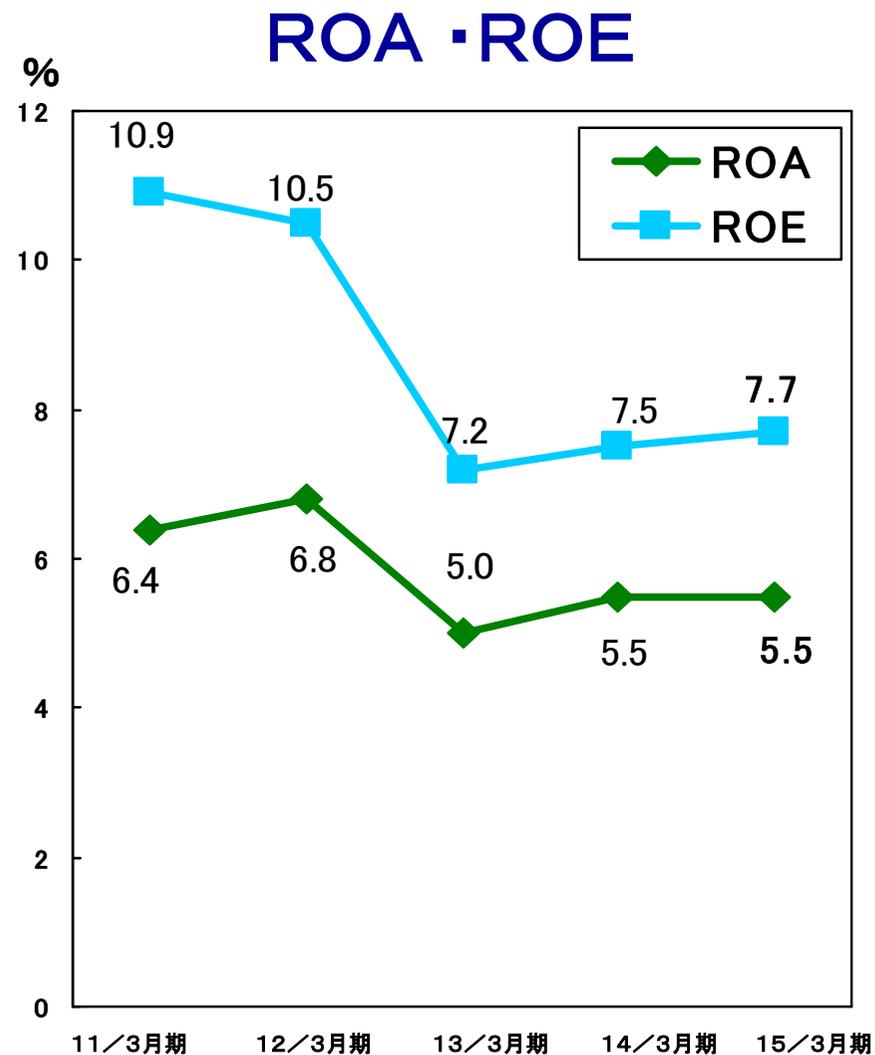
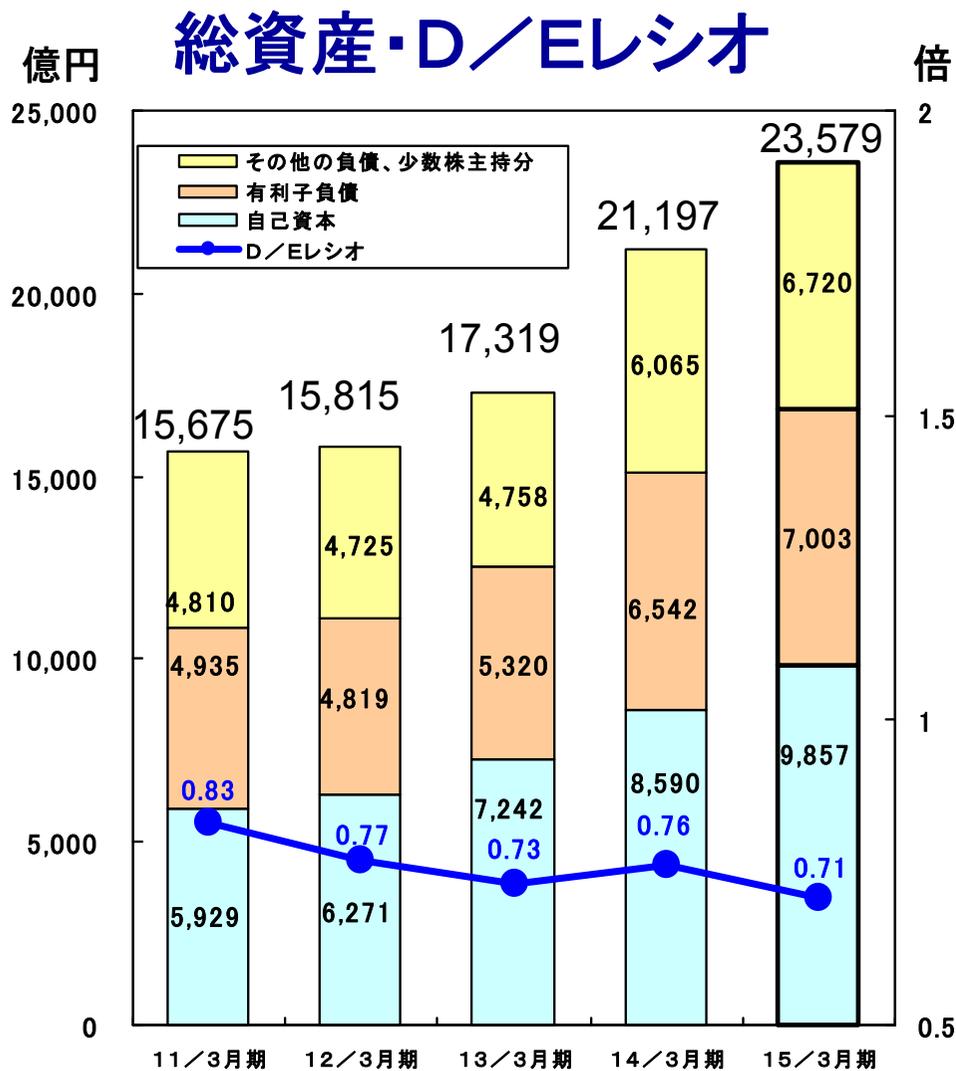
売上高



営業利益



総資産・D/Eレシオ、ROA・ROE



ROA=営業利益/総資産
ROE=当期純利益/自己資本

営業外収支

	14年3月期	15年3月期	増減
営業外収益	191	220	+29
受取利息及び配当金	38	41	+3
持分法による投資利益	77	118	+41
為替差益	25	21	-4
雑収入	51	40	-11
営業外費用	▲ 137	▲ 169	-32
支払利息	▲ 49	▲ 63	-15
新規設備操業開始費用	▲ 12	▲ 22	-9
休止設備関連費用	▲ 29	▲ 28	+1
雑損失	▲ 46	▲ 56	-10
営業外収支	54	51	-3
金融収支	▲ 11	▲ 22	-11

億円

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

特別損益

億円

	14年3月期	15年3月期	増減
特別利益	79	18	-61
有形固定資産売却益	7	5	-3
投資有価証券売却益	4	5	+2
関係会社株式売却益	-	7	+7
受取保険金	68	-	-68
その他	0	2	+2
特別損失	▲ 208	▲ 159	+49
有形固定資産処分損	▲ 59	▲ 62	-2
減損損失	▲ 144	▲ 79	+65
その他	▲ 5	▲ 19	-14
ネット特別損益	▲ 129	▲ 141	-12

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

資産・負債・純資産、フリー・キャッシュ・フロー

億円

	14年3月末	15年3月末	増減
資産合計	21,197	23,579	+2,382
流動資産	9,204	10,179	+975
有形固定資産	7,812	8,556	+744
無形固定資産	1,001	985	-16
投資その他	3,180	3,860	+680

	14年3月末	15年3月末	増減
負債合計	11,751	12,772	+1,021
流動負債	5,966	6,009	+43
固定負債	5,785	6,763	+978
純資産合計	9,446	10,808	+1,361

＜フリー・キャッシュ・フローの状況＞ 億円

	14年3月期	15年3月期	増減
営業活動	1,615	1,413	-202
投資活動	▲2,148	▲1,407	+742
フリー・キャッシュ・フロー	▲534	6	+540

セグメント別売上高・営業利益

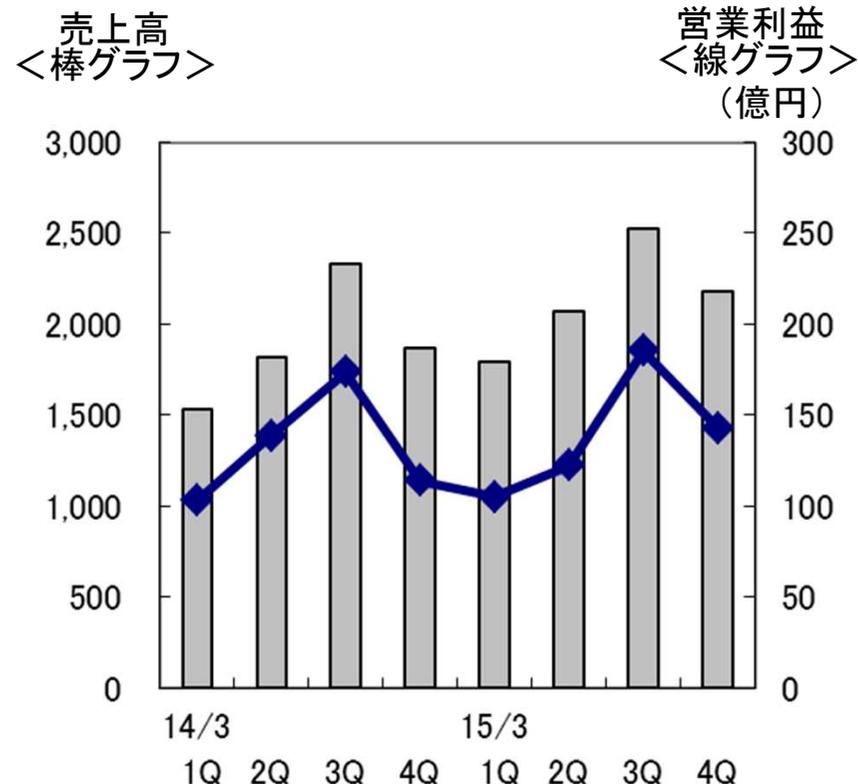
		売上高				営業利益			
		14年 3月期	15年 3月期	増減	(%)	14年 3月期	15年 3月期	増減	(%)
繊維	上期	3,351	3,862	+511	(+15.2%)	242	228	-14	(-5.9%)
	下期	4,204	4,705	+501	(+11.9%)	287	328	+41	(+14.3%)
	通期	7,555	8,567	+1,012	(+13.4%)	529	556	+27	(+5.1%)
プラスチック・ケミカル	上期	2,280	2,462	+182	(+8.0%)	90	117	+27	(+30.0%)
	下期	2,425	2,502	+76	(+3.2%)	90	122	+32	(+35.1%)
	通期	4,705	4,964	+258	(+5.5%)	180	239	+59	(+32.6%)
情報通信材料・機器	上期	1,220	1,218	-1	(-0.1%)	108	103	-5	(-4.7%)
	下期	1,238	1,261	+24	(+1.9%)	138	142	+4	(+3.0%)
	通期	2,457	2,480	+22	(+0.9%)	246	245	-1	(-0.4%)
炭素繊維複合材料	上期	521	766	+245	(+47.1%)	71	118	+47	(+66.3%)
	下期	613	817	+205	(+33.4%)	98	145	+46	(+46.8%)
	通期	1,133	1,584	+450	(+39.7%)	169	262	+93	(+54.9%)
環境・エンジニアリング	上期	831	834	+3	(+0.4%)	6	21	+14	(+221.7%)
	下期	971	966	-5	(-0.5%)	58	59	+2	(+3.4%)
	通期	1,802	1,800	-2	(-0.1%)	64	80	+16	(+25.4%)
ライフサイエンス	上期	266	265	-1	(-0.4%)	19	17	-2	(-8.5%)
	下期	316	305	-11	(-3.4%)	37	24	-14	(-36.7%)
	通期	582	570	-12	(-2.0%)	56	41	-15	(-27.4%)
その他	上期	69	72	+3	(+4.5%)	7	7	+0	(+3.0%)
	下期	74	71	-3	(-3.6%)	13	12	-1	(-8.3%)
	通期	143	143	+0	(+0.3%)	20	19	-1	(-4.3%)
調整額	上期					▲ 100	▲ 98	+3	
	下期					▲ 112	▲ 110	+2	
	通期					▲ 212	▲ 207	+5	
連結	上期	8,538	9,480	+942	(+11.0%)	443	513	+70	(+15.9%)
	下期	9,840	10,628	+787	(+8.0%)	610	722	+112	(+18.4%)
	通期	18,378	20,107	+1,730	(+9.4%)	1,053	1,235	+182	(+17.3%)

億円

セグメント別業績(繊維)

単位: 億円

		14年3月期	15年3月期	増減	
売上高	東レ	1,081	1,048	-33	(-3.0%)
	国内	3,722	3,862	+140	(+3.8%)
	海外	2,752	3,657	+905	(+32.9%)
	計	7,555	8,567	+1,012	(+13.4%)
営業利益	東レ	138	134	-3	(-2.5%)
	国内	130	125	-5	(-3.5%)
	海外	272	314	+42	(+15.5%)
	修正	▲ 10	▲ 17	-7	
	計	529	556	+27	(+5.1%)



国内：衣料用途は、消費税率引き上げの影響の長期化を受けて需要が全般的に弱含みで推移する中、系綿／テキスタイル／製品一貫型ビジネスの推進などによる事業の高度化と拡販に努めた。産業用途は、自動車関連用途向けをはじめとして堅調に推移。

海外：欧州需要の低迷や中国内需の伸び悩みの影響を受けたが、東南アジアや中国のテキスタイル子会社が拡販と高付加価値品へのシフトを進めた。また自動車関連用途向けや新興国における衛生材料向けの出荷が堅調に推移。なお、前期末に連結子会社化したToray Chemical Korea Inc.は、増収には寄与したが、連結子会社化に伴うのれん償却等の影響があった。

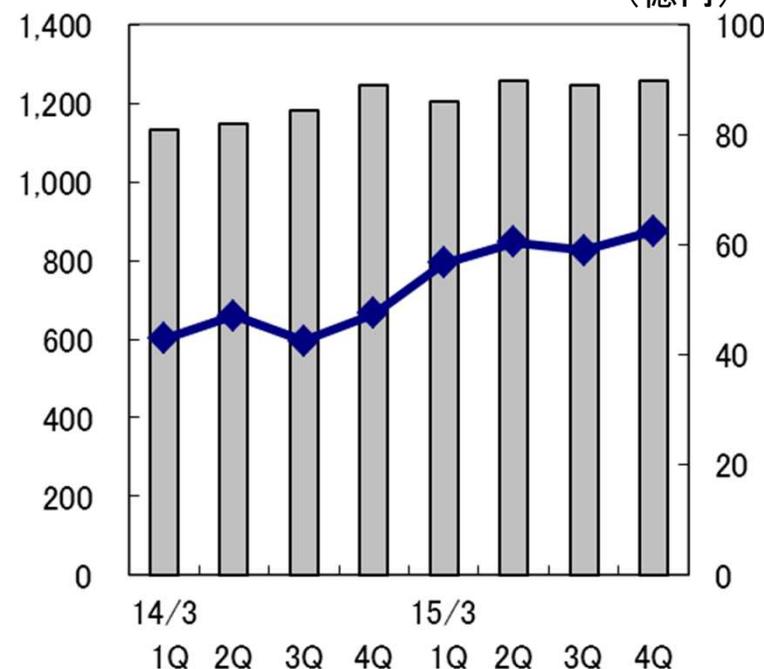
セグメント別業績(プラスチック・ケミカル)

単位: 億円

		14年3月期	15年3月期	増減	
売上高	東レ	843	796	-47	(-5.5%)
	国内	1,842	1,887	+44	(+2.4%)
	海外	2,020	2,281	+260	(+12.9%)
	計	4,705	4,964	+258	(+5.5%)
営業利益	東レ	▲ 11	23	+34	(-)
	国内	83	88	+5	(+5.9%)
	海外	106	130	+25	(+23.2%)
	修正	3	▲ 2	-5	
	計	180	239	+59	(+32.6%)

売上高
＜棒グラフ＞

営業利益
＜線グラフ＞
(億円)



樹脂事業： 国内では自動車など一部の用途で消費税率引き上げの影響から出荷の伸び悩みが見られたが、全体としては堅調に推移。海外では中国や米国の子会社で自動車関連用途向けの出荷が拡大。

フィルム事業： 太陽電池バックシート用途向けで中国内需の拡大を背景に出荷を拡大し、食品包装用途向けでは高付加価値品の拡販を進めた。一部で価格競争の影響を受けたものの、全体としては堅調に推移。

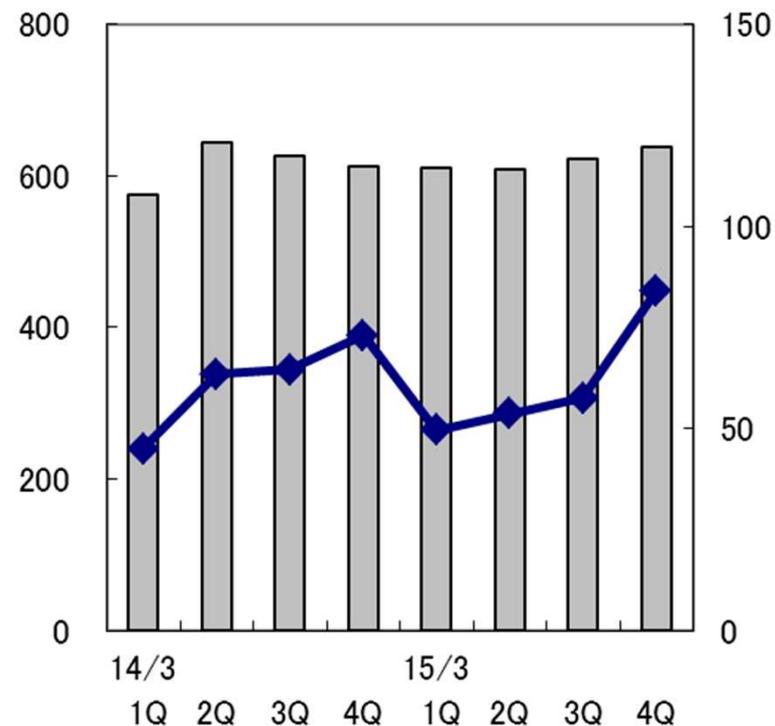
セグメント別業績(情報通信材料・機器)

単位: 億円

		14年3月期	15年3月期	増減	
売上高	東レ	771	696	-75	(-9.7%)
	国内	793	836	+44	(+5.5%)
	海外	894	947	+53	(+6.0%)
	計	2,457	2,480	+22	(+0.9%)
営業利益	東レ	109	69	-40	(-37.0%)
	国内	69	93	+24	(+34.9%)
	海外	100	115	+15	(+14.8%)
	修正	▲ 32	▲ 32	+1	
	計	246	245	-1	(-0.4%)

売上高
＜棒グラフ＞

営業利益
＜線グラフ＞
(億円)



大型液晶パネル向けでは、パネルメーカーの生産回復と大画面化の進展に伴い、フィルム・フィルム加工品等の関連材料の出荷が増加。スマートフォンやタブレット端末の関連材料の出荷は概ね堅調に推移したものの、一部で最終顧客の生産調整の影響を受けた。なお、PDP関連材料の出荷は、主要顧客のPDP事業からの撤退の影響により減少。また、各材料とも価格競争の影響を受けた。

情報通信材料・機器セグメントの売上高の詳細

【サブセグメント別売上高比率】

単位：億円

	14年3月期		15年3月期		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
ディスプレイ材料	855	35%	838	34%	-2%
電子部品・半導体・回路材料	1,066	43%	1,097	44%	+3%
記録材料	309	13%	337	14%	+9%
機器他	227	9%	207	8%	-9%
情報通信材料・機器セグメント合計	2,457		2,480		+1%

ディスプレイ材料：フィルム及びフィルム加工品は、堅調に推移したが、PDP関連材料の出荷が減少。

電子部品・半導体・回路材料：各材料とも概ね堅調に推移。

記録材料：データバックアップ用途等の磁気テープ向けフィルムの出荷が堅調に推移。また、2013年11月にチェコで稼働を開始した印刷材料も堅調に推移。

機器他：液晶カラーフィルター製造装置の販売が減少。

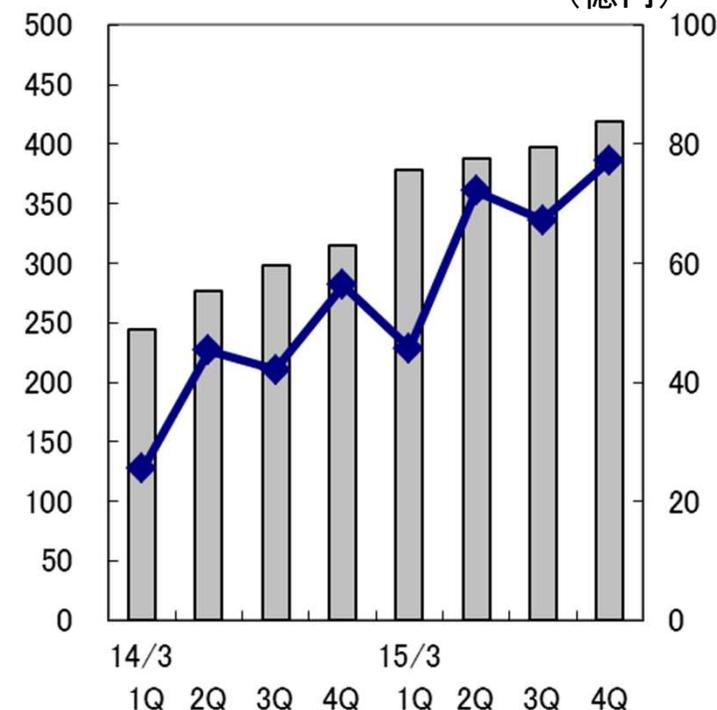
セグメント別業績(炭素繊維複合材料)

単位: 億円

売上高
＜棒グラフ＞

営業利益
＜線グラフ＞
(億円)

		14年3月期	15年3月期	増減	
売上高	東レ	849	931	+82	(+9.6%)
	国内	538	631	+93	(+17.2%)
	海外	936	1,389	+452	(+48.3%)
	修正	▲ 1,190	▲ 1,367	-176	
	計	1,133	1,584	+450	(+39.7%)
営業利益	東レ	111	168	+57	(+51.3%)
	国内	8	8	+0	(+1.5%)
	海外	65	126	+61	(+93.1%)
	修正	▲ 15	▲ 39	-24	
	計	169	262	+93	(+54.9%)



本セグメントでは、グローバルオペレーションの規模が大きく、実態を正しく表すために、内部売上高の消去を外枠で記載しています。

航空機需要の拡大や圧縮天然ガスタンクなど環境・エネルギー関連需要の拡大に加え、欧州をはじめとした自動車関連用途向けの需要も好調に推移し、航空宇宙用途や一般産業用途向けに炭素繊維及び中間加工品(プリプレグ)の出荷が拡大。また、スポーツ用途や産業用途で使用される汎用品の値戻しに取り組んだ。なお、前期末に連結子会社化したZoltek Companies, Inc.は、増収には寄与したが、連結子会社化に伴うのれん償却等の影響があった。

炭素繊維複合材料セグメントの売上高の詳細

【サブセグメント別売上高比率】

単位：億円

	14年3月期		15年3月期		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
航空宇宙	572	50%	780	49%	+36%
スポーツ	142	13%	160	10%	+13%
一般産業	419	37%	644	41%	+54%
炭素繊維複合材料計	1,133		1,584		+40%

航空宇宙：既存機向けの需要拡大に加え、ボーイング787向け出荷も好調に推移。

スポーツ用途：欧州及び中国等の新興国の需要が伸長したため、総じて堅調に推移。

一般産業：圧縮天然ガスタンク用途や欧州をはじめとした自動車関連用途向けに出荷が堅調に推移。また、前期末に連結子会社化したZoltek Companies, Inc.は、主力の風力発電関連用途が好調に推移。

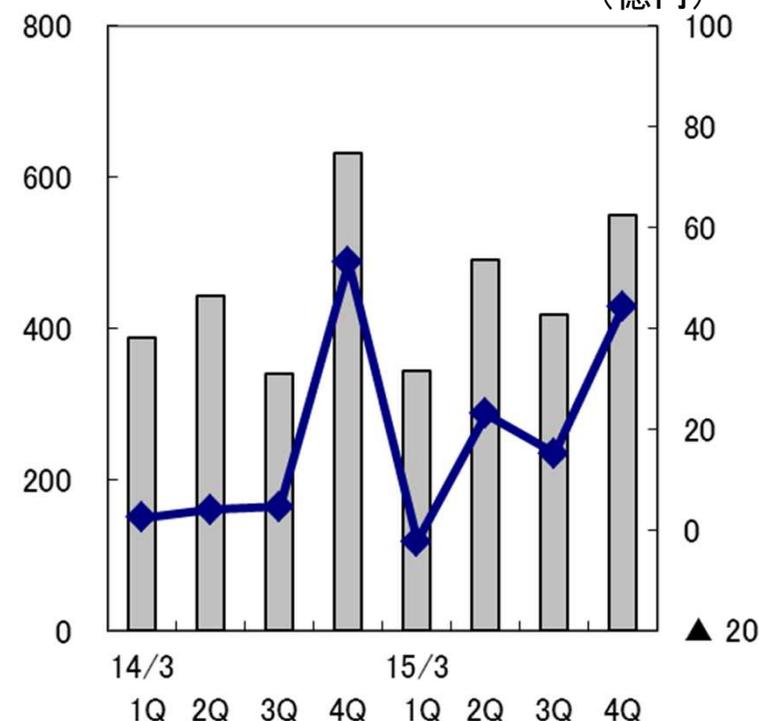
セグメント別業績(環境・エンジニアリング)

単位: 億円

		14年3月期	15年3月期	増減	
売上高	東レ	108	107	-1	(-0.5%)
	国内	1,617	1,493	-125	(-7.7%)
	海外	77	200	+123	(+159.8%)
	計	1,802	1,800	-2	(-0.1%)
営業利益	東レ	8	7	-0	(-1.2%)
	国内	48	60	+12	(+24.6%)
	海外	3	19	+16	(+497.5%)
	修正	5	▲ 7	-11	
	計	64	80	+16	(+25.4%)

売上高
棒グラフ

営業利益
線グラフ
(億円)



水処理事業: グローバルな需要が弱含みに推移する中、海水淡水化向け逆浸透膜などの出荷が増加するとともに、前期末に連結子会社化したToray Chemical Korea Inc.が業績に貢献。

国内: エンジニアリング子会社の業績が、プラント工事の進捗により好調に推移。

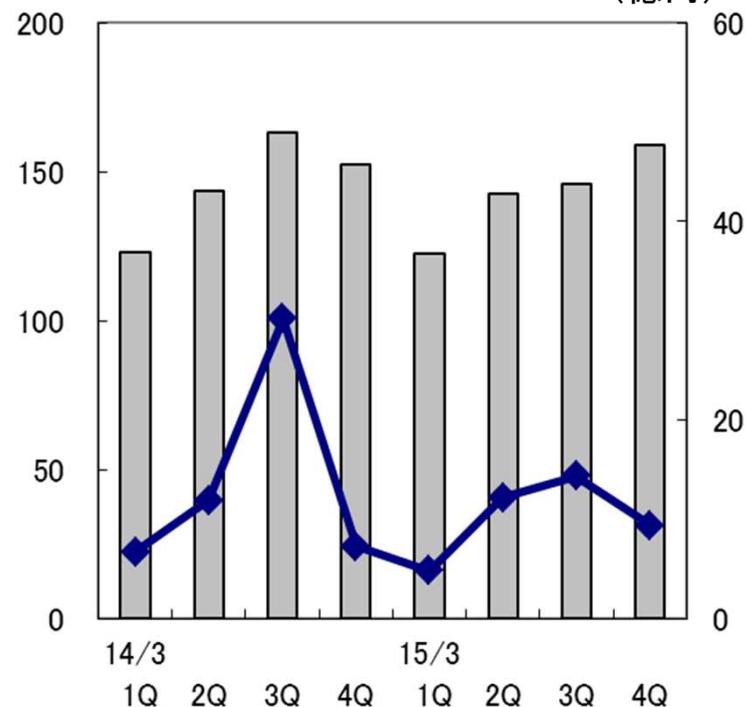
セグメント別業績(ライフサイエンス)

単位: 億円

		14年3月期	15年3月期	増減	
売上高	東レ	162	149	-13	(-7.8%)
	国内	378	367	-11	(-2.9%)
	海外	42	54	+12	(+28.0%)
	計	582	570	-12	(-2.0%)
営業利益	東レ	44	45	+1	(+2.9%)
	国内	15	6	-9	(-61.9%)
	海外	▲ 2	▲ 6	-4	(-)
	修正	▲ 1	▲ 4	-3	
	計	56	41	-15	(-27.4%)

売上高
＜棒グラフ＞

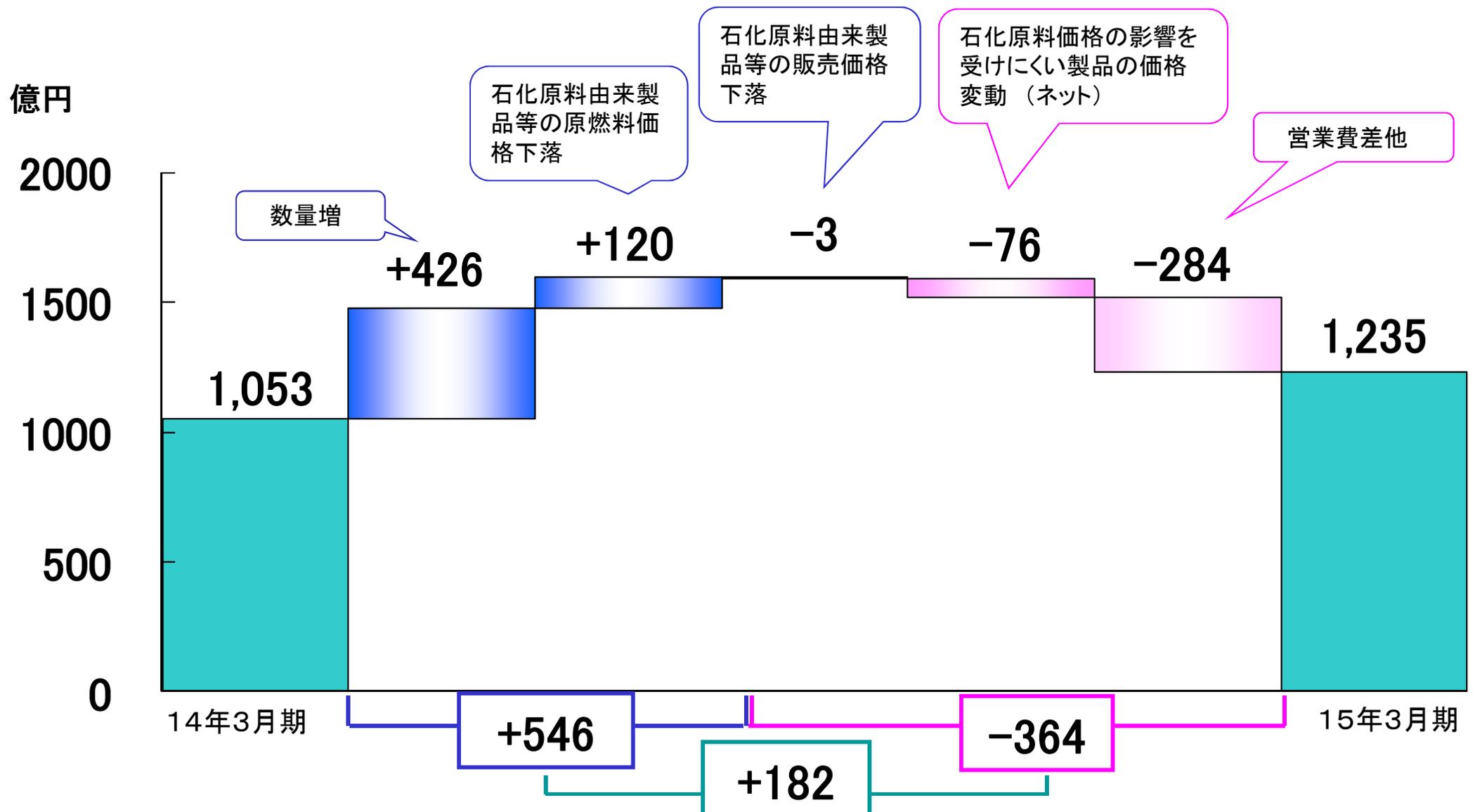
営業利益
＜線グラフ＞
(億円)



医薬事業は、血液透析患者向けの経口そう痒症改善剤レミッチ®* の出荷が堅調に推移したが、天然型インターフェロンβ製剤フェロン®は競合の激化から出荷が低調に推移し、経口プロスタサイクリン誘導体制剤ドルナー®は、薬価改定と後発医薬品伸長の影響を受けた。また、ライセンス収入が減少。医療機器事業は、ダイアライザーの出荷が堅調に推移。

* レミッチ®は鳥居薬品株式会社の登録商標です。

営業利益増減要因分析



石化原料由来製品等とは、繊維、プラスチック・ケミカル、炭素繊維複合材料セグメントの合計値。

主要子会社収益状況

億円

	売上高			営業利益		
	14年3月期 年間実績	15年3月期 年間実績	増減	14年3月期 年間実績	15年3月期 年間実績	増減
東レインターナショナル	5,540	5,764	+225	119	114	-5
東レエンジニアリング	764	856	+92	13	30	+17
東レ建設	627	571	-57	18	19	+1
東レフィルム加工	441	468	+27	14	25	+11
東レ・メディカル	412	399	-13	15	6	-9
TAK(韓国)	1,153	1,197	+44	117	111	-5
TPM(マレーシア)	696	697	+1	27	32	+5
在東南アジア・子会社 * 1						
繊維	1,198	1,267	+69	50	65	+16
プラスチック・ケミカル	811	835	+23	35	40	+5
その他	80	80	-0	4	6	+2
計	2,089	2,181	+92	88	111	+23
在中国・子会社 * 2						
繊維	1,975	2,225	+250	165	164	-1
プラスチック・ケミカル	703	855	+152	17	26	+8
その他	184	208	+24	2	▲1	-3
計	2,862	3,289	+426	184	189	+5
在外・フィルム子会社 * 3						
プラスチック・ケミカル	963	1,020	+57	47	60	+13
情報通信材料・機器	637	673	+37	87	95	+8
計	1,599	1,693	+94	134	155	+21

* 1: ITS、ETX、ISTEM、ACTEM、CENTEX、TPJ、PFR、PAB-G、TTS、LTX、TTTM、TPM 単純合計

* 2: TFNL、TSD、TJQ、TPN、TCH、TICH、TIHK、THK-G、TPCH-G、TPPH/TPPZ、TFH/TFZ、TBMC、TMQ、TFCC 単純合計

* 3: TAK、PFR、TPA、TFE、TFH/TFZ、TAFK 単純合計

従業員数、関係会社の異動

従業員数		人	
	14年3月末	15年3月末	増減
東レ単体	7,123	7,232	+109
国内連結子会社	10,247	10,299	+52
海外連結子会社	28,511	28,258	- 253
合計	45,881	45,789	- 92

関係会社の異動		社		
		14年3月末	15年3月末	増減
連結子会社 (a)	国内	62	58	-4
	海外	97	98	+1
	計	159	156	-3
持分法適用子会社 (b)	国内	27	27	±0
	海外	29	32	+3
	計	56	59	+3
子会社計 (a) + (b)	国内	89	85	-4
	海外	126	130	+4
	計	215	215	±0
持分法適用関連会社 (c)	国内	13	13	±0
	海外	25	25	±0
	計	38	38	±0
連結対象会社 合計 (a) + (b) + (c)	国内	102	98	-4
	海外	151	155	+4
	計	253	253	±0

Ⅱ. 2016年3月期連結業績見通し

2016年3月期連結業績見通し

		15年3月期 実績	16年3月期 見通し	対前年同期比 増減	
売上高	上期	9,480	10,300	+820	(+8.7%)
	下期	10,628	12,200	+1,572	(+14.8%)
	通期	20,107	22,500	+2,393	(+11.9%)
営業利益	上期	513	640	+127	(+24.7%)
	下期	722	860	+138	(+19.2%)
	通期	1,235	1,500	+265	(+21.5%)
経常利益	上期	565	640	+75	(+13.3%)
	下期	721	860	+139	(+19.3%)
	通期	1,286	1,500	+214	(+16.7%)
当期純利益	上期	413	390	-23	(-5.5%)
	下期	298	480	+182	(+61.3%)
	通期	710	870	+160	(+22.5%)
1株当たり 当期純利益	上期	25.70円	24.40円		
	下期	18.61円	30.03円		
	通期	44.33円	54.43円		
1株当たり 配当金	上期	5.00円	6.00円		
	下期	6.00円	6.00円		
	通期	11.00円	12.00円		

億円

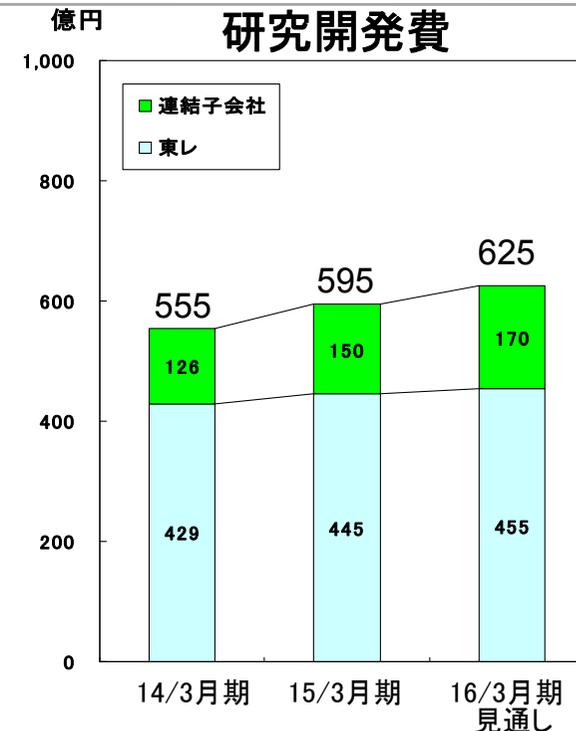
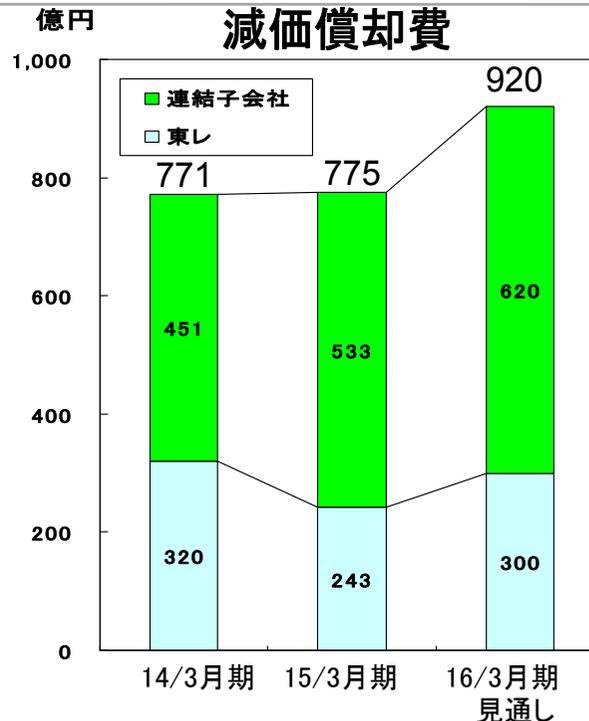
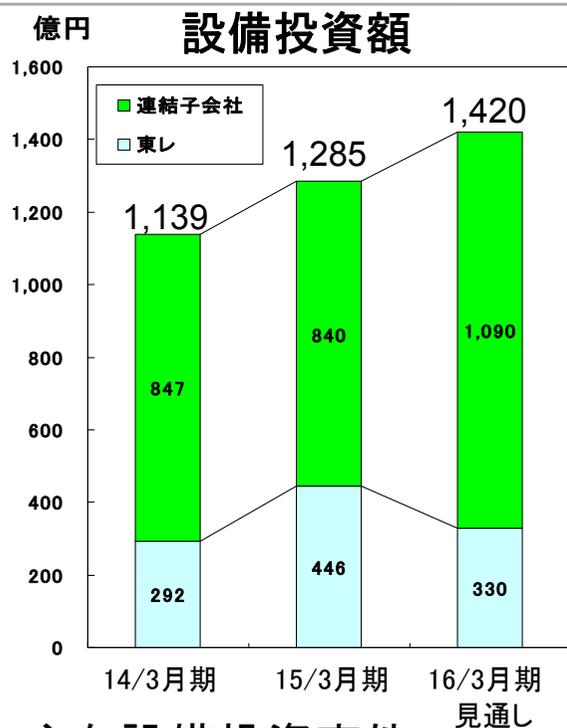
備考：為替レート的前提は、115円/US\$

セグメント別業績見通し (売上高／営業利益)

億円

		15年3月期 実績			16年3月期 見通し			対前年同期比 増減		
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	繊維	3,862	4,705	8,567	4,200	5,000	9,200	+339	+295	+633
	プラスチック・ケミカル	2,462	2,502	4,964	2,700	3,000	5,700	+238	+498	+736
	情報通信材料・機器	1,218	1,261	2,480	1,300	1,500	2,800	+82	+239	+320
	炭素繊維複合材料	766	817	1,584	900	1,000	1,900	+134	+183	+316
	環境・エンジニアリング	834	966	1,800	850	1,300	2,150	+16	+334	+350
	ライフサイエンス	265	305	570	280	320	600	+15	+15	+30
	その他	72	71	143	70	80	150	-2	+9	+7
	連結	9,480	10,628	20,107	10,300	12,200	22,500	+820	+1,572	+2,393
営業利益	繊維	228	328	556	290	340	630	+62	+12	+74
	プラスチック・ケミカル	117	122	239	150	150	300	+33	+28	+61
	情報通信材料・機器	103	142	245	130	160	290	+27	+18	+45
	炭素繊維複合材料	118	145	262	150	170	320	+32	+25	+58
	環境・エンジニアリング	21	59	80	10	90	100	-11	+31	+20
	ライフサイエンス	17	24	41	5	45	50	-12	+21	+9
	その他	7	12	19	5	15	20	-2	+3	+1
		調整額	▲ 98	▲ 110	▲ 207	▲ 100	▲ 110	▲ 210	-3	-0
	連結	513	722	1,235	640	860	1,500	+127	+138	+265

設備投資額・減価償却費・研究開発費の推移



主な設備投資案件

【2015年3月期】

東レ

CFA(Toray Carbon Fibers America, Inc.)

CFE(Toray Carbon Fibers Europe S.A.)

TAK (Toray Advanced Materials Korea Inc.): PPS(ポリフェニレンサルファイド)樹脂設備

炭素繊維設備

【2016年3月期】

TAK (Toray Advanced Materials Korea Inc.): PPS(ポリフェニレンサルファイド)樹脂設備

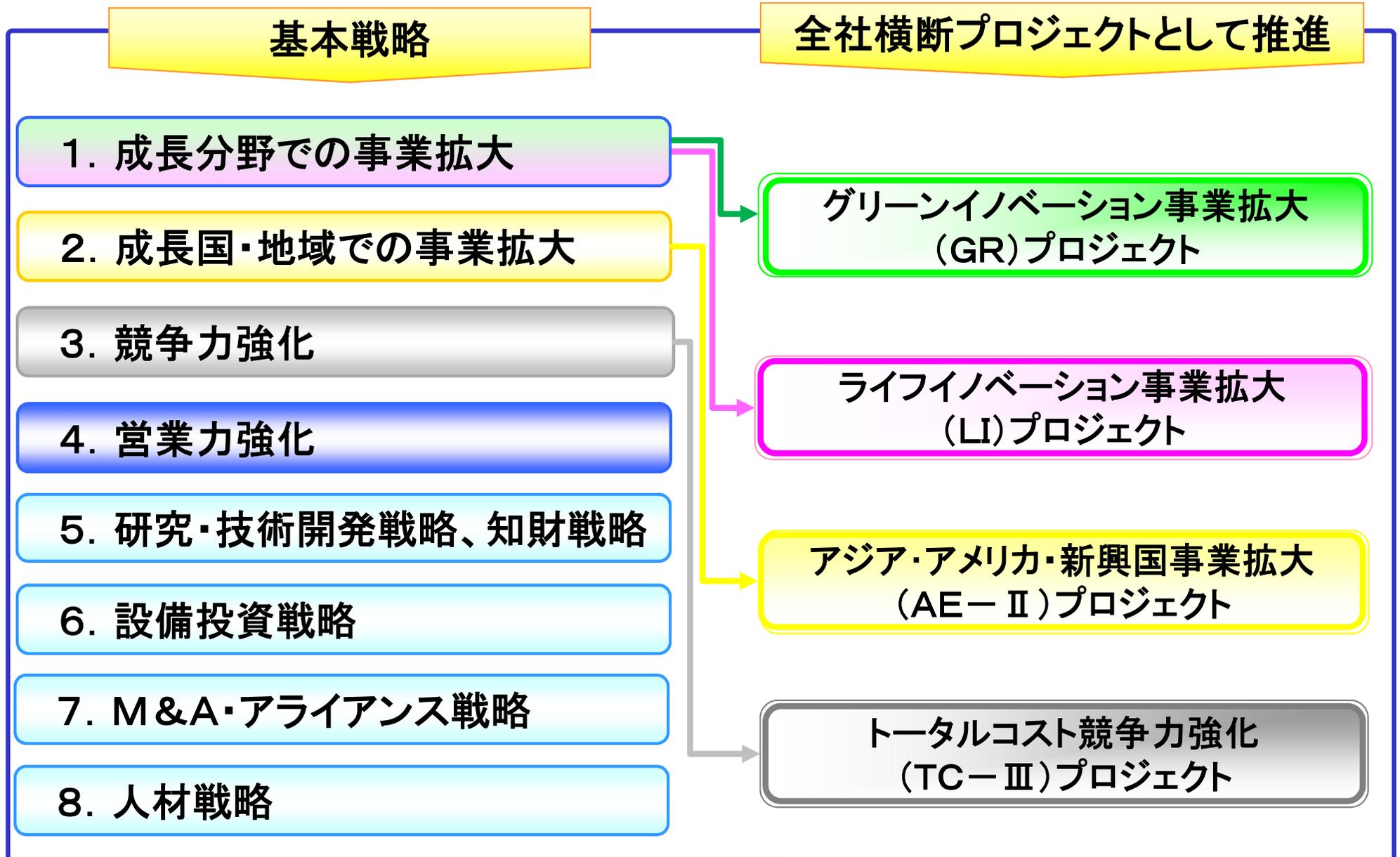
TPJ (P.T. Toray Polytech Jakarta.): 高機能ポリプロピレン長繊維不織布設備

TCK (Toray Chemical Korea Inc.): ポリエステル短繊維設備

TCA(Toray Composites (America), Inc.): 炭素繊維“トレカ[®]”プリプレグ設備

Ⅲ. “プロジェクト AP-G 2016”の進捗状況

“プロジェクト AP-G 2016”の進捗状況



“プロジェクト AP-G 2016”の進捗状況

グリーンイノベーション事業拡大(GR)プロジェクト

2014年度の主な取り組み

・ボーイング777X向けに炭素繊維“トレカ®”
プリプレグを供給



©BOEING

- ・787向けの包括供給契約(05年11月締結)の供給対象に777Xを新たに加え、契約期間を10年以上延長
- ・契約期間中の787、777X両プログラム向け材料供給総額は1兆円超の見込み



©BOEING

トヨタの新型燃料電池自動車「MIRAI(ミライ)」に東レの炭素繊維材料が採用

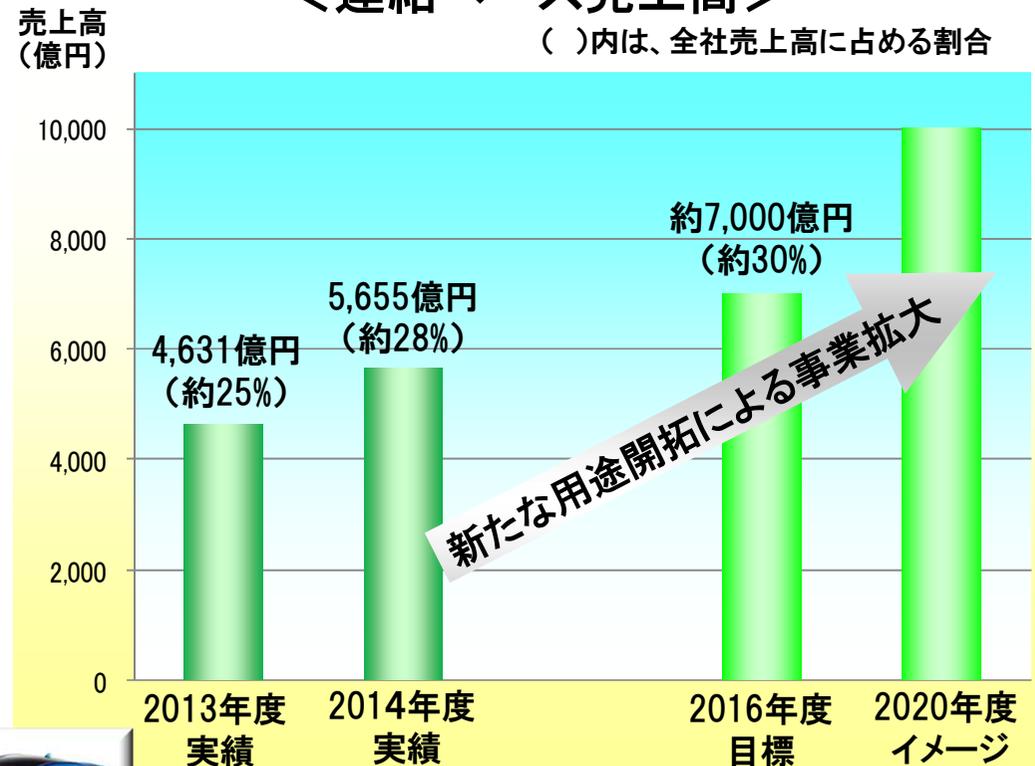
- ・スタックフレーム = 熱可塑性炭素繊維複合材料 (CFRTP)
⇒自動車構造部品として世界初
- ・燃料電池スタックの電極基材 = カーボンペーパー
⇒電池性能向上、省スペースに貢献
- ・高圧水素タンク = 高強度炭素繊維
⇒安全性と強度・軽量性を両立



トヨタ自動車提供

グリーンイノベーション事業の拡大計画 ＜連結ベース売上高＞

()内は、全社売上高に占める割合



“プロジェクト AP-G 2016”の進捗状況

ライフイノベーション事業拡大(LI)プロジェクト

2014年度の主な取り組み

hitoe®を活用したトレーニング支援サービスを展開

- ・着るだけで生体情報を連続計測できる hitoe®をウェアラブルビジネスに展開
- ・将来は医療用途での展開も視野に健康長寿に貢献



「C3fit IN-pulse (インパルス)」
(ゴールドウイン)

次世代がん診断開発に向けた産学官連携プロジェクトに参画

- ・東レが開発した高感度DNAチップ3D-Gene®を活用
- ・13種類のがんや認知症の早期発見マーカーを検出するバイオツールを世界に先駆けて実用化することを目指す



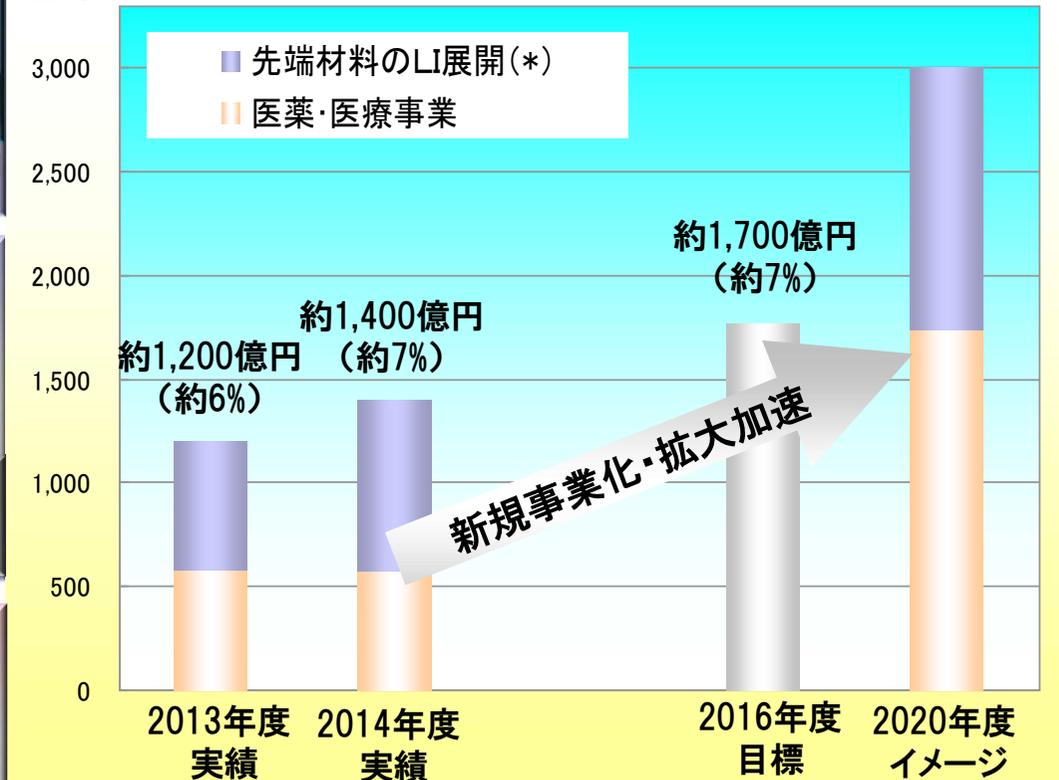
急性血液浄化治療製品の欧州8カ国における販売契約締結

- ・フレゼニウスメディカルケア社とエンドトキシン除去向け吸着型血液浄化用浄化器「トレミキシン®」およびポリメチルメタクリレート(PMMA)系中空糸を用いた持続緩徐式血液濾過器について、欧州8カ国における独占販売契約を締結。

ライフイノベーション事業の拡大計画

()内は、全社売上高に占める割合

売上高
(億円)



(*) 東レグループ概算

“プロジェクト AP-G 2016”の進捗状況

アジア・アメリカ・新興国事業拡大(AE-II)プロジェクト

2014年度の主な取り組み

中国 研究・技術開発の新体制を確立

→Toray Advanced Materials Research Laboratories(China)に新研究施設を完成し、中国での製品開発・技術サービス機能を強化

インドネシア 高機能ポリプロピレン長繊維不織布製造設備の増強

→P.T. Toray Polytech Jakartaで2014年12月に第2系列の年産約18千トンの生産設備増設を決定。2016年9月に稼働開始予定。

タイ 東レ・カーボンマジックおよびカーボンマジック(タイランド)の生産能力増強

→日本とタイで2014年度下期から2016年度にかけてCFRP部品の生産能力を増強する予定。

インド 自動車エアバッグ基布の事業化を決定

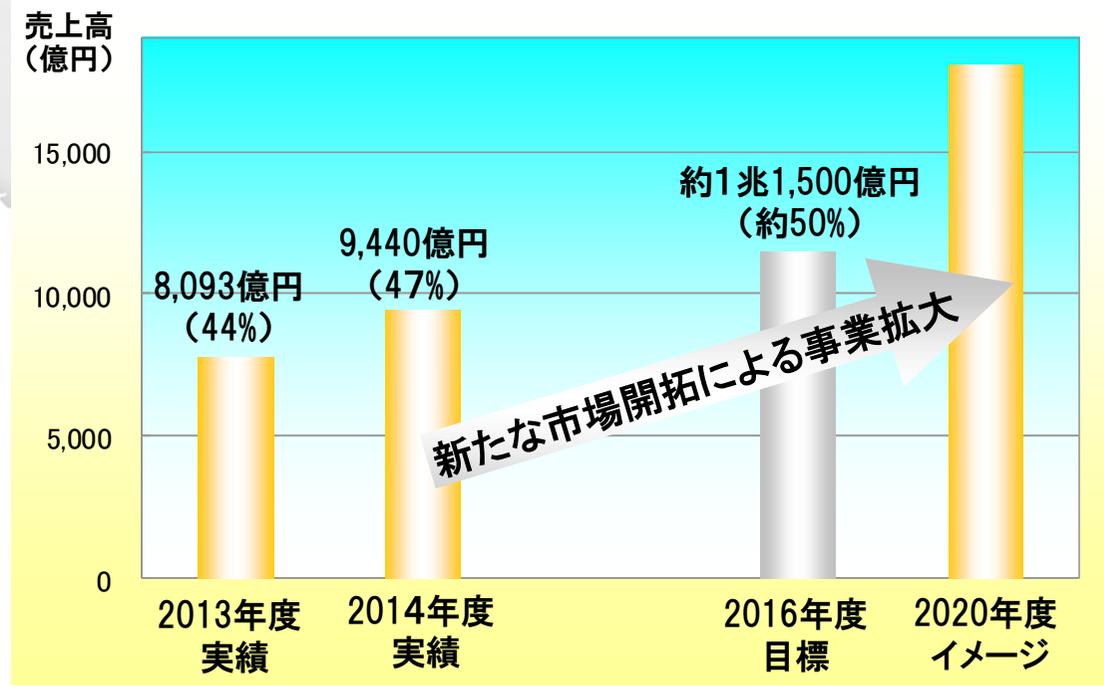
→2014年9月に新会社Toray Kusumgar Advanced Textile Private Limitedを設立し、2016年10月からエアバッグ基布の量産・販売を開始予定。

メキシコ 樹脂コンパウンド拠点の新設

→新会社Toray Resin Mexico S.A. de C.V.を設立し、2015年2月からZoltek Companies, Incのメキシコ工場内に年産9,600トンのナイロン・PBT樹脂コンパウンド設備を稼働開始。

アジア・アメリカ・新興国事業の拡大計画

()内は、全社売上高に占める割合



“プロジェクト AP-G 2016”の進捗状況

トータルコスト競争力(TC-Ⅲ)プロジェクト

2014～2016年度に合計2,000億円のコスト削減を目指す

TC-Ⅱの 継続

- ◆ 比例費削減活動の継続
(前年比3%以上、3年間で10%以上)
- ◆ P値管理による固定費管理の徹底
(毎年P値(*)0.96以下)
- ◆ 東レグループ全員参加による活動推進

生産プロセス 革新

- ◆ 新たな視点・アプローチから、大幅コストダウンに向けた革新的生産プロセスの構築
- ◆ 研究・技術・生産・工務が連携し、組織横断的に全社の総合力を活かして推進

営業トータル コストダウン

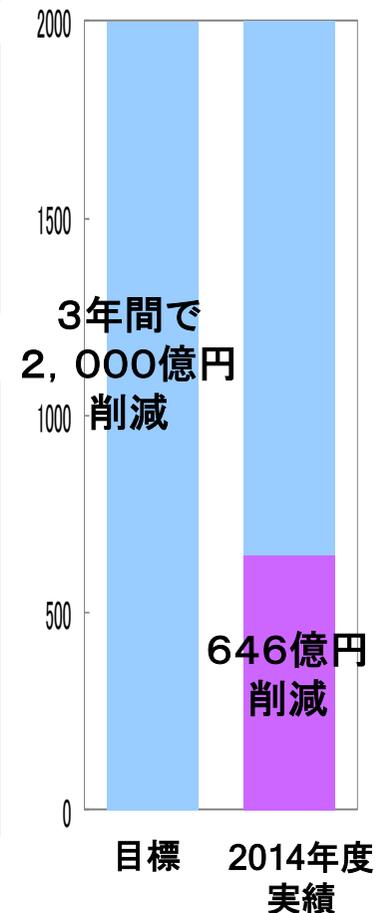
- ◆ 商社・代理店・外注等で発生する費用を含めた営業トータルコスト、物流・デリバリー機能などを分析・把握し、競争力の高いサプライチェーンを構築

14年度実績

比例費:
301億円削減
(削減率3.6%)

固定費:
199億円削減
(P値=0.98)

生産プロセス革新
と
営業トータルコストダウン
の効果
合計:146億円



* : P(Performance)値 = 固定費増加率 / 限界利益増加率 1.0以下もしくは予算との対比で事業毎に管理

“プロジェクト AP-G 2016”の進捗状況

業績指標

<億円>

	2013年度	2014年度	2016年度目標
売上高	18,378	20,107	23,000
営業利益	1,053	1,235	1,800
営業利益率	5.7%	6.1%	8%
ROA	5.5%	5.5%	8%
ROE	7.5%	7.7%	10%

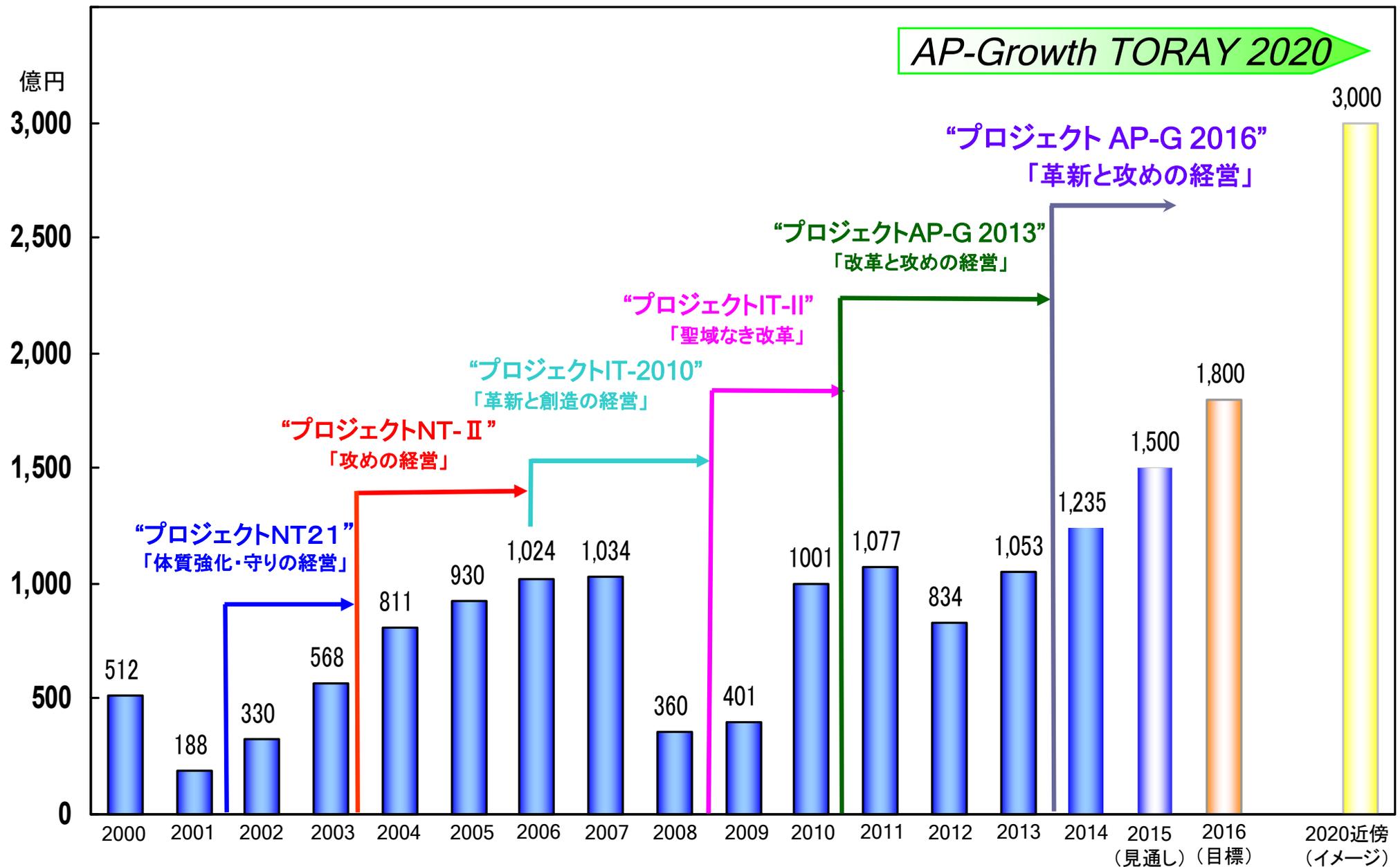
ROA= 営業利益／総資産

ROE= 当期純利益／自己資本

配当方針：業績に連動した継続的な配当増

D/Eレシオ・ガイドライン： 1以下

連結営業利益の推移



本資料中の2016年3月期の業績見通し及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。

'TORAY'

Innovation by Chemistry